

第3回役員会 報 告 事 項

(1) 農道補修事業

事業項目	協定書第4の農業生産活動等として取組むべき事項（必須事項）
科 目	農道補修事業

協定書に定める8月期の簡易農道補修事業の実施



実 施 日 平成13年8月1日～5日

場 所 下高久中谷地及び南谷地地内（農道 1530 号線・1534 号線）

施工業者 マルケン産業

・実施状況 バックホーによる表土整地。雑草の剥離搬出。

今まで轍、雑草等で幅員の半分程度しか利用できなかったものが、平らに整地されたことによりいっばいに利用できるようになった。予算的にこれが限度と思われるが、なお砂利を敷設するのが望ましい。

(2) 農業機械の共同利用事業

事業項目	協定書第5の生産性・収益の向上、担い手の定着等に関する目標（必須事項）
科 目	農業機械の共同購入利用事業

カメムシ共同防除の実施



実 施 日 平成13年8月8日～12日

場 所 協定地 1,952アール

実施主体 下高久共同防除団

・実施状況

申し込み者数

農事組合	馬 場	中三ヶ所	根 岸	原	八 幡	合 計
人 数 (人)	1 5	5	1 1	2	1	3 4
面 積 (㌥)	6 9 9	2 5 6	7 0 0	2 7 7	2 0	1,9 5 2

オペレーター延べ人数 2 5 人

オペレーター名	矢吹 安男 猪狩 久三郎 中野 二郎 山野辺 浩(J A指導員) 鎌田 将仙(J A指導員) 鈴木 誠一(J A指導員) 鈴木 理 猪狩 弘文 菌部 好正 田仲 功治 佐藤 吉延 岩橋 英世 箱崎 利久 鈴木 浩一 田仲 久人
---------	---

会計報告 中山間下高久部会総会時に、下高久共同防除団会計として報告する。

- 特記事項
- ・第5日目に試験的に穂首枝梗イモチ病対策としてカシ液剤を混合散布した。
 - ・1日5人体制で概ね4ヘクタールを目途に散布した。
 - ・散布係2名、給水及び散布補助係3名とした。
 - ・散布箇所を前もって把握、移動ロスを少なくした。

反省事項

実施日	
時 間	
機械(車両)	
係	
方 法	
その他	

(3) 景観形成作物栽培事業

事業項目	協定書第4の農業生産活動等として取組むべき事項の2・多面的機能を増進する活動
科 目	景観作物栽培事業

a. そば栽培事業

平成12年度復旧した農用地

下高久字定田 187,188,189,190 番地 計 6,015 ㎡に於いて、景観形成作物“そば”を栽培する。



耕起作業 7/2・8/20 実施

播種日 8/21 実施 (予定より20日遅れ)

播種量 そば種子(猪苗代産) 50kgを動散にて播種。覆土はしない。

ヒント(覆土しない場合は、降雨直前に耕起播種する。降雨により湿った土と種子がなじんで発芽
発根が順調にすすむ。乾燥状態で播種すると発芽・発根がまばらになり、枯死株も出る。)

今後の計画

周辺の草刈り(第2回共同作業)

開花期(10月上旬から)盛期(10月中旬) — お花見(中央に花見道作成)

収 穫 — 播種遅れにより多収は望めないが、次年度の種子を確保する必要がある11月下旬
刈取予定。(専用コンバインで作業委託すると、10a 18,000円必要)

種子必要量 — 120a 分 90kg

b. 葉ボタン栽培事業

平成12年度復旧した農用地

下高久字定田 157 番地 1,757 m² に於いて、景観形成作物“葉ボタン”を栽培し、地域の農村住
環境の美化に寄与する。



■ 葉牡丹栽培暦

1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
						播 仮	定			配	
						種 植	植			布	
■	■	■	■	■	■	▼	△	☒		■	■

播 種 8 月 4 日 高久農青連(仮植すると手間がかかるため、プラグ育苗とする。)

管 理 ビニールハウス（田仲久人）
 耕 起 5 回実施（田仲久人 2・鈴木理 3 放棄地復旧畑なので雑草の発生が多い。）
 定植準備 9 月 8 日（高久農青連・施肥・管理機による畝立て整地。）
 定 植 9 月 9 日 27 名
 （緑化クラブ 5 名・すみれの会 5 名・J A 女性部 3 名・農青連 6 名・中山間役員 8 名）
 定植本数 約 5,000 本

所 感 そば、葉ボタンいずれの作業も予定より遅れてしまったが、何とか景観形成作物として生育してくれるのではないかな。 そばについては、次年度の種子確保とともに、生産調整にかかる転作作物として普及を目指したい。
 葉ボタンについては、「花」としては栽培容易な方であり、冬季の景観形成に役立つと思う。
 いずれも取組まなければすべての交付金の返還を命ぜられる、多面的機能を増進する活動であり、今後とも地域団体との共同作業で推進するという姿勢で取組んでゆきたい。

（４）事業告知立看板の設置について
 中山間下高久部会の活動を理解してもらうため、立看板を設置する。



- 設置予定箇所（５枚作成）
- 葉ボタン栽培地 1
 - そば栽培地 2
 - 大豆栽培地 1
 - 学童農園 1

（１） 本年度 第 2 回共同作業
 平成 13 年 9 月 16 日（日）午前 8 時集合
 ① 団地別参加人数報告について

（9 月 11 日現在）

馬 場	中三ヶ所	川和久	根 岸	原	八 幡	合 計
13 名	8 名	6 名	9 名	8 名	2 名	46 名

② 参加人数の調整

最低必要人員	40 名
--------	------

追加人員（必要人員に満たない場合）

馬 場	中三ヶ所	川和久	根岸	原	八 幡
名	名	名	名	名	名

人名については 14 日までに、書記まで報告。

③ 集合場所及び解散について

◇ 集合場所 J A高久支店

◇ 解散場所 現 地（各団地長の指示に従う）

④ 作業時間 作業時間は概ね3時間程度とする。

⑤ 作業地別人員および作業種

平成13年度復旧予定地に於いては全面の草刈りを実施する。

◆ 馬場団地内

No.	作業地	現況	面積	所有者	作 業 種	要員	人 名
1	字馬場 183	田	1,262	大友国光	用排水路草刈草上げ	5	遠藤富三
2	字馬場 184	田	1,262	〃	隣接農道草刈 全面の草刈り H14 大豆栽培予定地		鈴木貞行
3	字堤下 14	田	1,659	志賀 力	水路・農道の草刈り 全面の草刈	2	矢吹修一 矢吹安平
4	金古溜池	堤防			農道・法面の草刈り 川草刈り	5	矢吹清光 矢吹福夫 矢吹清美 矢吹安男 藺部好正 小林一友 藺部千次

上記作業地は視認できる範囲であるので、終了後は他の作業地へ移動作業する。

5	猿田溜池	堤防			堤防法面の草刈り		鈴木 理 鈴木光栄 猪狩邦雄
---	------	----	--	--	----------	--	----------------------

◆ 中三ヶ所団地内

No.	作業地	現況	面積	所有者	作業種	要員	人 名
1	若宮 40-1 若宮 40-2 若宮 41-1 若宮 41-2	田	3,198	永山定義	全面の草刈 用排水路の草刈 隣接農道の草刈	3	藁谷俊仲 藁谷茂光 藁谷友位 猪狩邦雄

2	小萱溜池	堤防			農道・法面の草刈り	5	小野英順 馬上正一 田仲宗司 坂本喜男 田仲一正 矢吹 治
3	十郎田 26	田	961		全面の草刈	1	鈴木富康
4	若宮大排水路	堤防			水路両側の草刈り	2	山崎 茂 藁谷健一 田仲久次

上記作業地内に於いて移動、作業する。

◆ 根岸団地内

No.	作業地	現況	面積	所有者	作業種	要員	人 名
1	牛転 133-1	畑	2,729	矢吹文正	水路・法面の草刈り H14 そば栽培予定地	2	佐藤吉延 岩橋英世
2	北谷地 57-1 北谷地 58-1 北谷地 59-1	田 田 田	1,161 517 1,136	佐藤伸利 矢吹省三 鈴木真一郎	水路・法面の草刈り	2	矢吹省三

終了後馬場団地内へ移動

◆ 原団地内

No.	作業地	現況	面積	所有者	作業種	要員	人 名
1	定田 187 定田 188 定田 189 定田 190	畑 畑 畑 畑	1,633 1,656 726 2,000	鈴木重教 〃 〃 箱崎初代	水路・農道の草刈り 周囲法面の草刈り そば栽培地	3	箱崎三洋 鈴木 淳 猪狩 康

終了後中三ヶ所団地へ移動

◆ 川和久団地内

No.	作業地	現況	面積	所有者	作業種	要員	人 名
1	清水 66 清水 74-1 清水 75-1	田 畑 畑	2,446 809 871	岡本森雄 松井延之 鈴木善隆	水路の草刈り 全面の草刈り	5	宍野正秋 片寄健三 猪狩弘文 箱崎勝宣 青木栄正 鈴木完至朗 箱崎利久

終了後八幡団地へ移動

◆ 八幡団地内

No.	作業地	現況	面積	所有者	作業種	要員	人 名
1	大志田 5	—	1,061	鈴木祐孝	水路・農道の草刈り	5	柴崎勝男 志賀秀次 片寄嘉明 坂本 昇 箱崎輝之
	大志田 8	—	515	大平正一郎			
	大志田 16	田	1,325	松井延之			
	大志田 240	—	377	猪狩金司			
	大志田 241	—	1,044	箱崎哲夫			
	大志田 242	田	525	志賀 仁			
	大志田 243	—	356	松井延之			
	大志田 247-1	—	1,313	鈴木佑孝			
	大志田 247-2	—	1,035	鈴木春夫			
	大志田 248	—	1,587	猪狩末男			
	大志田 250	畑	1,003	箱崎タカヨ			
	大志田 251	畑	219	大友康至			
	大志田 252	畑	332	脇坂 昭			
	大志田 253	—	573	矢吹加左エ門			
	大志田 254	—	799	鈴木与三郎			
	大志田 275	畑	1,127	箱崎 博			
	大志田 276	畑	619	箱崎 昭			
	大志田 277	畑	412	箱崎 一			
	大志田 278	畑	1,385	片寄 薫			
	大志田 279	畑	824	猪狩安男			

終了後川和久団地へ移動

⑥ 役割分担および準備品について

a. 全体責任者 矢吹 安男 あいさつ、全体の指揮

b. 作業地別責任者 各団地長（農事組合長） 作業の指示

c.

受 付	会計 柴崎勝男 宍野正秋 書記 鈴木 理 担当 鈴木 淳	・参加確認（受付簿にチェック） ・労務切符の配布 ・お茶の配布	準備品 机 1、諸帳簿、筆記用具 （書記） 切符、お茶（会計）
給 油	担当 志賀健一	・最初に満タンにしてもらう ・各団地長に持たせる	混合油 携行缶 3 ポリ缶 3 準備（会計）
現場指示	各団地長（農事組合長）	・作業地、作業種の指示 ・指示票の配布	現場指示票（書記）
開 会	書記 田仲久人	・式進行、諸連絡 ・作業記録、報告書作成 ・臨時労災保険加入	カメラ、諸記録用紙 加入者名簿作成

d.解散は作業終了後、各団地長（農事組合長）の責任において行う。

（他地区の参加者がいても同時に指示、解散する。）

⑦事後報告会

役員は作業終了後高久公民館へ集合の事。

⑧その他

（２）各事業予算概算額について

別 紙

（３）「自己保全管理」地に於ける適正な管理について

所感 下高久集落協定を締結した協定地の中に、耕作放棄地（交付金は部会で控除、復旧費用に充当）同様何ら手の加えられていない自己保全管理地（管理者に交付金交付）が見受けられる。耕作放棄地の復旧と発生防止を目的とした本制度の趣旨を考慮すると、交付金を受けながら新たに放棄地が発生することは許されない。また、適正に管理されている他の所有者との公平性を確保するためにも、行政（９月下旬現地確認）の指摘を受けないようにするためにも適正な自己保全管理をお願いした。 回覧…別紙

検討事項

＊ 期日（９月１５日）までに、管理されない場合。

- ・ ９月１６日 所在地、管理者の特定（共同作業事後報告会時各団地長より聞き取り）。囑地的に。
- ・ ９月１７日 個人あてに文書で再度依頼。（２３日までに実施の由）
団地長は返事をもらってくる。
- ・ ９月２４日 未管理地の耕起および草刈り。要員確保は団地長があたる。

▼作業にかかる費用は実費（草刈り １日あたり１万円、耕起 １０アール ５,８００円）。集金は１週間以内に団地長があたり作業者に分配する。

再度の依頼文書 … 別紙

（４）各種研修会参加事業について

事業項目	協定書第５の生産性・収益の向上、担い手の定着に関する活動
科 目	各種研修会参加事業
予 算 額	１００,０００円

実施期日 平成１３年１１月４日（日）

実施場所 別紙検討
交通機関 J Aバス（予約済み）
募集人員 約30名